

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
小俣町本町地区

平成24年6月

三重県伊勢市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	宮川駅乗車人数減少率	%	△8	0	4	確定	見込み	○	あり	なし	△6	H24年6月	△	<p>駅へのアクセスとして利用されていた路線バスの廃止(H20)に伴い、コミュニティバスに移行したが、運行数の減少や運行時間の変更などが影響し、駅利用者数が減少したと考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策はそのまま  <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要  <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる</p>	路線バスからコミュニティバスへの移行による、運行数の減少や運行時間の変更などの影響から、H21には減少に転じ、目標達成には至らなかった。しかし、駅周辺の市道改良工事や、小俣町商工会を中心とした離宮院公園や官舎神社参道等を活用した催しの実施などによる効果が発現し、乗車人数減少率の改善につながったと考えられる。また、道路整備により、駅へのアクセスなど利便性が向上したことも改善要因の一つであるとされる。
指標2	狭隘道路率	%	37.4	36.9	36.9	確定	見込み	○	あり	なし	36.9	H23年6月	○	<p>—</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策はそのまま  <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要  <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる</p>	狭隘道路を含む市道整備事業が完了したことにより、狭隘道路率が改善され、目標達成につながった。これにより、駅利用者や地域住民の利便性は向上した。
指標3	離宮院公園入込客数	人/年	2,970	3,100	1,245	確定	見込み	△	あり	なし	3,120	H23年5月	○	<p>—</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策はそのまま  <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要  <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる</p>	多目的トイレの整備(バリアフリー)により、子どもから高齢者まで利用しやすい環境が整備され、幼稚園や保育園、小学校の遠足等の利用が増加したことにより、目標達成につながった。本町再発見活動事業を契機として、小俣町商工会を中心とした、離宮院公園や官舎神社参道等を活用した催し(年越し献灯)の実施も目標達成の要因の一つと思われる。
指標4	公道等の未改良延長の減少	%	100	99	99	確定	見込み	○	あり	なし	H 年 月			<p>—</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策はそのまま  <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要  <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる</p>	本町市内の公道改良事業の完了により、効果が発現し、目標達成につながった。これにより、緊急車両の進入可能な幅員が確保され、安全性が向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	参宮市及び参道での献灯の参加延べ人数	人	2,700	/	3,700	確定	見込み	/	/	/	3,700	H23年5月	/	<p>—</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策はそのまま  <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要  <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる</p>	まちづくり活動推進事業による住民主体の取組やPR活動の効果が発現し、イベント、参加者の増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	生活環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意向を踏まえ、地区内の狭隘道路を整備した。</li> <li>・旧伊勢市から地区内につながる都市計画道路の整備を実施した。</li> <li>・整備した道路や管理橋梁の維持管理を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の意向を踏まえ、狭隘道路を整備することにより、地域の实情に合った整備ができています。</li> <li>・旧伊勢市から地区内、地区内から旧伊勢市への移動の利便性が向上した。</li> <li>・損傷等の予防的な点検などの維持管理を実施することで、地域住民の安全性の確保につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も住民意向を踏まえながら、地域の实情に合わせた道路整備を実施する。</li> <li>・整備した道路について、今後も継続的に維持管理を行い、利用者の安全性の維持を図る。</li> </ul>
	生活環境の安全性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型ワークショップとして、身近な防災マップの作成等の開催支援を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月11日の東日本大震災以降、今まで以上に市民の防災意識が向上し、ワークショップへの参加人数・地域の防災講習会への防災コーディネーター派遣要請が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もワークショップ等の防災意識の向上に寄与する会合の開催を支援するとともに、防災コーディネーターの育成支援等を行っていく。</li> </ul>
	住民のまちづくりへのモチベーションの維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第六十二回 神宮式年遷宮」に向けて、地域の奉献団を結成した。</li> <li>・地域のシンボルである、ユニチカ工場の歴史と地域との関わりについて勉強会を実施した。</li> </ul> <p>【勉強会の実施内容】                      実施回数：全5回(平成23年7月～11月)                      実施内容：工場の歴史の勉強会をはじめ、工場入口にあるクスノキと工場を眺める風景を含んだ撮影会、写真コンテスト等を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式年遷宮に向けて、まちづくりへのモチベーションが向上してきている。</li> <li>・地域の歴史を振り返り、交流の思い出を再確認することで地域の活性化及びまちづくりにつながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式年遷宮に向けて、今後も継続して地域住民のまちづくりへのモチベーションの維持・向上を図るとともに、市民と行政が一体となった協働のまちづくりに向けた取り組みを検討していく。</li> </ul>
改善策	離宮院公園入込客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参宮市のポスター作成など、継続的なPR活動の支援を行った。</li> <li>・整備した多目的トイレの維持管理を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的なPR活動を行ったことにより、参宮市の参加者数の維持・向上につながった。</li> <li>・整備した多目的トイレの維持管理により、子どもから高齢者まで、利用しやすい環境の維持につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も参宮市のPR活動を継続するとともに、離宮院公園の魅力向上につながる取り組みやイベントの検討を行っていく。</li> <li>・子どもから高齢者まで利用しやすい環境を維持するとともに、地域住民の積極的な参画による維持管理を検討する。</li> </ul>
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
道路や河川の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路や河川の良好な環境を維持していくために、地域住民が積極的に参画した維持管理を目指す。</li> </ul>	平成25年～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が維持管理に参加しやすい体制、環境づくりを検討する必要がある。</li> </ul>
コミュニティバスの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行について、路線の統廃合や電話予約を受け付けるなど、利用者目線に立った施策を実施することで、利用環境の改善を図る。</li> </ul>	平成23年8月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民へ電話予約が出来る事の周知を徹底するとともに、利用環境について適宜意見を聴取するなど、地元への定着を目的とした継続的な取り組みが必要である。</li> </ul>